

外科 マンスリーレター 2018.09



近隣地域の先生方におかれましては平素より大変お世話になっております。本年度4月より市立大津市民病院で専攻医としてお世話になっております外科・消化器外科・乳腺外科の植村泰佑と申します。元々は当院で初期研修医として勉強させていただきまして、御縁があってこの度当科で働かせて頂く事となりました。まだまだ若輩者ですが、患者様やご家族様を含む地域の皆様から頼ってもらえる外科医を目標に日々鍛錬させて頂く所存ですので何卒宜しく願い申し上げます。

元々私は学生時代には他の科を目指しておりましたが、最終的にはあまりこれまで考えていなかった外科を選びました。今回はその経緯とこれからの抱負について述べられたらと思います。

思い返してみますと、大学に入学してから、私の志望科は様々に変わってまいりました。時には神経内科や腎臓内科などの内科系、時には放射線科や病理診断科など多種多様にわたっていましたが、外科系の科を考えたことはあまりなかったように思えます。そんな私が外科を志したのは、初期研修の間に当科をローテートしている際に、事前に画像検査等で発見された病変を自分の目で確かめられるという事に大変興味を持ったからです。また、人格者揃いで教育熱心な当院外科の先生方と触れ合う事で、この先生方のようにになりたい、一員になりたいと強く思った事もあります。

これからは周囲の方々にも良い影響力を与えられる外科医として励んでいけたらと考えておりますし、そうなるためには小さな事をひとつひとつ丁寧にしっかりとすることが肝要なのではと考えております。外科医としての大きな喜びの一つに、手術後の患者様、御家族様が笑顔で先生の手術を受けて良かったと退院して頂く事があろうかと思いますが、この事に私としても日々非常にやり甲斐を感じております。

周囲の方々にも多々御迷惑をお掛けするかと存じますがご容赦頂ければ幸いです。若輩者ですが今後とも何卒宜しく願い申し上げます。

